

ふくろい遠州の花火2014 第15回絵画コンクール作品 審査講評

今年の「ふくろい遠州の花火」のテーマは「絆から夢に“音と光のおもてなし”」でした。あいにくの天候ではありましたが、夜空を彩る独創的で、幻想的な花火の数々が、例年以上に見る人にたくさんの感動と、夏の思い出を与えてくれた大会になりました。

「ふくろい遠州の花火2014」絵画コンクールには、1,585点というたくさんの作品が寄せられ、どの作品からも花火を見た感動が伝わってきました。また、水彩絵の具やクレパスで描くだけでなく、シールやモールを貼って花火の輝きを表現した作品、スタンプやちぎり絵の技法を用いて花火の迫力を表現した作品など、「ふくろい遠州の花火」同様に、アイデアが光る作品が数多くありました。

袋井市長賞に選ばれた浅羽東小学校4年生の鈴木せいりさんの作品は、赤、黄、青、緑と様々な色を使って、夜空に咲く大輪の花火を表現しています。黒の背景に映える色を選んで描いているので、花火の音や光がはっきりと感じられる作品となっています。また、並んで花火を見上げている人たちの笑顔も想像できます。

袋井市議会議長賞に選ばれた袋井西小学校6年生の前田梨英瑠さんの作品は、白を基調にしながらも、個々の花火の色を周辺にちりばめ、題名通りの夜空にきらめく花火を表現しています。筆跡を残した描き方も効果的で、前田さんの感じた花火のまぶしさと美しさが、作品を通して伝わってきます。

袋井商工会議所会頭賞に選ばれた山名小学校6年生の和泉優子さんの作品は、花火会場に向かう人たちと、その頭上で輝く大きな花火を描いています。傘の重なりがより遠近法を引き立て、奥行きのある構図になっています。花火の音と、それに呼応する人々のざわめきが、今にも聞こえてきそうな、臨場感のある作品です。

静岡新聞社・静岡放送賞に選ばれた袋井北小学校2年生の山内咲良さんの作品は、クレパスを使って鮮やかに描かれた花火と共に、それを見ている家族も描かれています。どの表情もすてきな笑顔で、花火に使われている明るい色と相まって、とても楽しい作品となっています。山内さんにとって、花火大会は夏休みの良い思い出になったのでしょうか。

袋井市観光協会賞に選ばれた高南小学校3年生の栗田結可さんの作品は、ドリップング（吹流し）の技法を使っています。偶然できた色の重なりや、絵の具の広がりや、風になびいてもなお輝き続ける、今年の花火のたくましさや、美しさを上手に表しています。

今回選ばれた5名の皆さん、おめでとうございます。また、今回応募していただいた皆さん、すてきな作品をありがとうございました。花火と共に作った夏の思い出を大切に、来年も是非「ふくろい遠州の花火2015」絵画コンクールで、皆さんの思いを表現してください。